

「新上市史」刊行に向けた調査経過をお知らせします

市は、平成33年の市制施行30周年に向けた市史編さん事業を進めています(詳しくは6月23日発行の広報きたかみ第632号5ページに掲載)。現在までの調査経過をお知らせします。

①自然部会

北上川や和賀川とその支流で魚類の生息調査を進めています。また、北本内川、鈴鴨川、夏油川流域で植物や昆虫、地質の調査も進めています。

②民俗部会

二子・黒沢尻・口内地区で明治以降の暮らしを聞き取ったほか、二子・飯豊地区の火防祭の調査を行いました。地区によって異なる習俗があったことが分かりました。

③古代・中世部会(中世班)

東北大学所蔵の、和賀氏に関する資料「鬼柳文書」全87点を調査し、未確認だった江戸時代分の資料を確認しました。

江釣子神社で板碑の調査や由来の聞き取りを実施。調査にあたって、佐藤悌一郎氏(江釣子神社氏子総代長)、八重樫善信氏(同神社総代責任役員)、佐藤貞充氏(有限会社

佐藤商店)にご協力いただきました。

④近現代部会(近代班)

市で所蔵している明治・大正・昭和初期の行政資料(旧黒沢尻町分)を調査しました。

※語句説明

鬼柳文書：和賀一族の鬼柳氏に伝わった鎌倉〜江戸期の文書群

板碑：鎌倉〜戦国期に供養のために作られた石碑

◆今後の調査予定

民俗部会：和賀・江釣子地区のくらしの聞き取り調査
古代・中世部会(中世班)：城跡の調査
近世部会：図書館所蔵の江戸時代の古文書調査

◆資料の情報提供をお願いします

より正確な市史を作るために、旧江釣子村、旧和賀町等に、

含めた昔の北上市を知ることができ資料をお持ちの人は市史編さん室へお知らせください。古文書だけでなく、写真、広報紙、新聞、地図、自治体の刊行物など幅広い分野の資料を集めています。



鬼柳文書の状態確認(古代・中世部会、8月20日・21日)



江釣子神社にある板碑の状態確認(古代・中世部会、8月26日)

問い合わせ 市史編さん室
072-8309

百歳 これからもお元気で

市は、8月に満百歳を迎えた2人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。

鈴木七郎さん(下江釣子)

は大正6年8月5日生まれ。25歳で故コメさんと結婚し、子4人、孫8人、ひ孫7人に恵まれています。20代の頃に戦地に赴いた経験を持つ七郎さん。今でも戦争の経験を話すことがあります。日本に帰還した後は、製鉄会社で仕事に励みました。現在は老人ホームに入所しており、孫やひ孫と会うのが楽しみだといいます。家族に祝福され「皆さんに迷惑をかけません」と話していました。



花束を持つタケさん(前列中央)



花束を持つ七郎さん(前列中央)

黒館タケさん(和賀町山口)

は大正6年8月28日生まれ。25歳で故吉助さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫4人に恵まれています。早くに夫が亡くなり、豆腐店の経営などをしながら女手一つで子どもを育てたタケさん。現在は、週に数回利用するデイサービスでお話することを楽しみにしているそうです。百歳を迎えた感想を尋ねると「気持ちちはまた百歳じゃない。50歳くらい」と笑顔で話していました。

独立行政法人住宅金融支援機構と 子育て世帯の住宅取得支援に関する協定を締結

「フラット35」子育て支援型・地域活性化型及び北上市子育て世帯住宅取得等支援事業費補助金に係る相互協力に関する協定締結式は8月28日、本庁舎で行われました。式では、高橋敏彦市長と同法人の吉永兼一東北支店長が協定書を交わしました。

今回の協定により、同補助金の利用者のうち、一定の条件を満たした人が「フラット35」子育て支援型・地域活性化型を利用できるようになります。今後、市と同法人はそれぞれの事業の推進・普及のため相互に協力。定住促進を目指し、子育て世帯の住宅取得を支援していきます。

●**北上市子育て世帯住宅取得等支援事業費補助金**
子育て世帯の住宅取得を支援するため、本年度から市が交付する補助金です。詳しくは子育て支援課（72-8260）へ。

対象：中学3年生までの子を持つ、一定の条件を満たす人
補助内容：①住宅を新築、購入、改築、増築する際にかかる経費の2分の1を補助上

限30万円。
※親と同居または近居、U・Iターンのいずれかを伴う場合は10万円が加算されます
②新たに親と同居する場合、住宅をリフォームする際にかかる経費の5分の1を補助（上限10万円）

●「フラット35」子育て支援型・地域活性化型
「フラット35」は同法人が提

市教育委員会A・L・T（英語指導助手）の ロナルド・レオン2世さんが退任

市教育委員会A・L・Tのロナルド・レオン2世さんが、8月31日付けで退任しました。

ロナルドさんは、市の姉妹都市であるコンコード市出身。同市の企業などで勤めた後、平成23年に同職に任命され、6年間の長期にわたり市内の小・中学校で英語の指導に当たりました。また、北上市国際交流ルームが開催している英会話講座「イングリッシュ・パーク」や「イングリッシュ・スクエア」では講師を

供する最長35年の長期固定金利住宅ローン。子育て支援型・地域活性化型では「フラット35」の金利が当初の5年間、年0.25パーセント引き下げられます。



協定書を前に握手する高橋市長(左)と吉永東北支店長



退任のあいさつに訪れ、高橋市長と握手するロナルドさん(左)

担当。多様な経験を生かし、児童や生徒の英語に対する興味・関心を高めるなど、市の外国語教育に寄与しました。

東芝新工場誘致決定

当市にとって10年来の念願であった、東芝メモリ新工場の誘致がようやく決まった。同社を取り巻く厳しい経営環境の中、まずは東芝経営陣のご英断に敬意と感謝を表した。そして、これまで諦めずに誘致活動を続けてこられた先輩市長を始め、職員にも心から感謝を申し上げたい。さらに終盤の厳しい状況の中で国や県の果たした役割も大きく、担っていただいた多くの関係者にも心から感謝申し上げます。



も少なからずインパクトがあると思われる。ひいては新たな雇用を生み出し、人口の県外流出を食い止めるとともに、今まで必死に取り組んできた復興の加速化とL・Cの誘致にも繋がるものと期待している。このことを市民の幸福に結びつける大きなチャンスとして生かし、舵取りを進めるのが私たち行政の大きな役割であり、喜びと同時に身の引き締まる思いがする。

来年の着工に向けて関連するインフラ整備のほか、用地確保への協力や人材確保などが必要と想定される。操業開始までの期間が限られており、会社の予定に支障を生じさせないよう、市としても早急にしつかりと対応していく必要がある。このため、多くの関係者の理解と協力が不可欠である。

さて、東芝メモリ新工場の立地が当地域にもたらす影響は計り知れないものがある。多額の直接投資の影響はもちろんのこと、関連産業の進出や住居、宿泊施設の建設、サービス産業の活性化など、周辺環境づくりにおいて

昨年のいわて国体で見せていただいたように、全市一丸となつて対応しなければならぬものと考えている。そして今までさまざまな場面で示してきた北上市民の大きな「おもてなしの心」をもって新工場を迎えることができれば幸いである。